

IV 國際化推進施設

1 名古屋国際センター

(1) 施設の概要

名古屋国際センターは、名古屋地域における国際交流の総合拠点施設として、昭和 59 年 10 月 12 日に開設され、翌日から一般の利用に供された名古屋市の「公の施設」である。

同センターは、泥江地区市街地再開発事業の一環として昭和 57 年 4 月 8 日着工、昭和 59 年 6 月 30 日竣工した地下 3 階、地上 26 階、高さ 102m の当時中部地域で最も高い建築物である名古屋国際センタービル(工費 128.8 億円、建築面積 1,502.54 m²、延床面積 46,946.69 m²)のうち 2 階の 1 室、3 階、4 階及び 5 階の全室、並びにホール(昭和 58 年 12 月 1 日着工、昭和 59 年 9 月 30 日竣工)を含めた総称である。

名古屋市は名古屋国際センターの指定管理者を財団法人名古屋国際センターに指定している。

(2) 経緯

昭和 52 年 12 月

「名古屋市基本構想」議決

昭和 53 年 国際文化村構想

昭和 54 年 3 月 17 日

国際文化村懇談会(第 1 回)開催

昭和 55 年 1 月

「名古屋市基本計画」策定

同年 2 月 26 日

国際文化センター懇談会(第 2 回)の開催

昭和 56 年 8 月 26 日

国際文化センター懇談会(第 3 回)の開催

昭和 57 年 4 月 8 日 泥江再開発ビル(名古屋

国際センタービル)着工

同年 9 月 9 日

国際文化センター懇談会(第 4 回)の開催

昭和 58 年 3 月 30 日 国際文化センター設立

推進委員会(委員長 本城和彦 (財)国際開

発センター理事)開催

同年 4 月 21 日 国際文化センター設立推進

委員会幹事会(座長 長峯晴夫近畿大学教
授)開催

同年 7 月 11 日

名古屋国際センターに名称変更

同年 11 月 10 日 名古屋国際センター開設準

備委員会(会長 本山政雄名古屋市長)発足

同年 12 月 1 日 開発準備委員会事務局、市
計画局から秘書室へ所管替

同年 12 月 1 日 名古屋国際センターホール
着工

昭和 59 年 4 月 3 日

名古屋国際センター条例公布

同年 6 月 30 日

名古屋国際センタービル竣工

同年 7 月 2 日 名古屋国際センター(本棟部
分)、市計画局から秘書室へ所管替

同年 7 月 13 日 財団法人名古屋国際センタ
ー設立発起人会開催

同年 8 月 1 日 財団法人名古屋国際センター
設立(外務大臣許可)、法人登記

同年 9 月 名古屋国際センター設立推進委員
会、名古屋国際センターの運営等について
答申

同年 9 月 30 日

名古屋国際センターホール竣工

同年 10 月 1 日 名古屋国際センターホール、
市計画局から秘書室へ所管替

同年 10 月 12 日

名古屋国際センター開設

同年 10 月 13 日

名古屋国際センター一般公開

平成 2 年 1 月 23 日 財団法人名古屋国際セ
ンターが自治大臣により地域国際化協会
として認定

IV 國際化推進施設

平成 6 年 8 月 1 日 財團法人名古屋國際センターが外務大臣により特定公益増進法人として認定

平成 13 年 4 月 1 日 國際留学生会館（旧財團法人國際留学生会館）を財團法人名古屋國際センターに統合

平成 18 年 4 月 1 日 指定管理者制度への移行に伴い、財團法人名古屋國際センターを指定管理者に指定

(3) 主な施設内容

名古屋國際センターの面積 4,131.14 m ²	$\left\{ \begin{array}{l} \text{センタービル延面積} \quad 3,095.66 \text{ m}^2 \\ \text{センターホール延面積} \quad 1,035.48 \text{ m}^2 \end{array} \right.$
--------------------------------------	--

区分	階	面 積 等	用 途 等
情報サービス コ 一 ナ 一	3 階	226 m ²	情報カウンターでの相談受付、映像機器等による情報提供、海外児童生徒教育相談
資 料 室	3 階	258 m ²	国際理解や国際協力に関する図書、各国を紹介する図書、世界の絵本等の閲覧・貸出
ビ デ オ ライブラリー	3 階	75 m ²	日本紹介、海外紹介、日本語教材等のビデオの視聴
読 書 室	3 階	101 m ²	海外新聞の閲覧、海外図書の貸出、名古屋市の姉妹友好都市紹介資料閲覧
研 修 室 2 室	3 階	106 m ² 、77 m ²	海外事情講座、研修会の他、会議・ミーティング等に利用
展 示 室 3 室	4 階	112 m ² (2室)、234 m ²	写真展、作品展その他に利用
研 修 室	4 階	77 m ²	海外事情講座、研修会の他、会議・ミーティング等に利用
会 議 室 6 室	5 階	54 m ² ～182 m ²	国際会議から小規模なミーティングまで、多種多様な会議等に利用
和 室	5 階	12.5 畳	小規模のミーティング等に利用
ホ ー ル	別棟	250 m ²	国際会議、シンポジウム、講演会、映画会、レセプション等に利用

(4) 財團法人名古屋國際センター

① 法人の概要

ア 所 在 地

名古屋市中村区那古野一丁目 47 番 1

イ 設立年月日

昭和 59 年 8 月 1 日

ウ 基本財産（平成 19 年 6 月 1 日現在）

3 億 4,520 万円

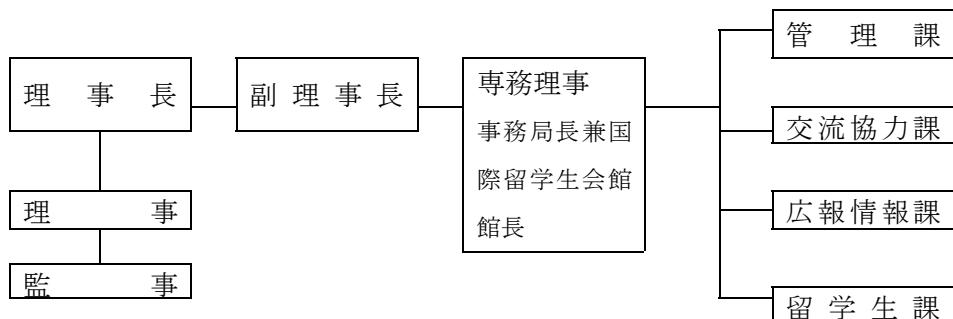
（うち名古屋市出捐 3 億 2,130 万円）

工 役 員

(平成 18 年 6 月 1 日現在)

理 事 長	鈴 木 勝 久	
副 理 事 長	因 田 義 男	名古屋市副市長
専 務 理 事	片 山 卓	(財)名古屋国際センター事務局長
理 事	小 野 川 和 延	国際連合地域開発センター所長
理 事	神 尾 隆	(社)中部経済連合会副会長
理 事	高 橋 治 朗	名古屋商工会議所国際委員会委員長
理 事	柄 博 子	独立行政法人国際交流基金人事課長
理 事	西 村 眞	愛知県副知事
理 事	ハンス ユーケン・マルクス	南山大学長
理 事	山 田 孝 嗣	名古屋港管理組合副管理者
監 事	加 藤 直 嗣	名古屋商工会議所常務理事・事務局長
監 事	近 藤 博	名古屋市市長室長

才 機構図



② 設立の目的

名古屋を中心とした中部一円において地域歴史、文化その他の特性を生かした国際交流活動を行うことにより、市民レベルの相互理解と友好親善を深め、もって普遍的な国際平和に寄与することを目的とする。

③ 事業内容

- ア 名古屋を中心とした中部一円及び諸外国の情報・資料の収集及び提供
- イ 国際交流に関する調査及び研究
- ウ 国際交流に関する研修の実施
- エ 国際交流に関する各種行事の実施及びそれに伴う人物の派遣及び招へい
- オ 国際交流団体との協力及び地域の国際交流関係団体活動の振興
- カ 名古屋国際センター等の地域の国際交流施設の管理及び運営
- キ その他設立の目的を達成するために必要な事業

(4) 平成 18 年度収支予算(平成 18 年 4 月 1 日から平成 19 年 3 月 31 日まで)

科 目	金 額	科 目	金 額
I 収 入 の 部	円	II 支 出 の 部	円
1 基本財産運用収入	3,800,000	1 指定管理事業費	428,678,000
2 会 費 収 入	19,560,000	2 事 業 費	148,856,000
3 指定管理事業収入	436,678,000	3 管 理 費	29,661,000
4 事 業 収 入	22,131,000	4 固定資産取得支出	1,000,000
5 换 助 金 等 収 入	89,664,000	5 特 定 預 金 支 出	11,010,000
6 貸 付 金 返 済 収 入	900,000	6 予 備 費	1,400,000
7 寄 付 金 収 入	1,000,000		
8 施 設 貸 付 収 入	33,757,000		
9 雜 収 入	1,032,000		
10 特定預金取崩収入	11,000,000		
		当期支出合計 (C)	620,605,000
		当期収支差額 (A) - (C)	-1,083,000
当期収入合計 (A)	619,522,000		
前期繰越収支差額	17,083,000		
収 入 合 計 (B)	636,605,000	次期繰越収支金額(B) - (C)	16,000,000

(5) 平成 19 年度の主な事業

I 指定管理事業
(国際化推進事業)
<p>1 情報収集提供事業</p> <p>(1) 情報サービスコーナーの運営(注 1)</p> <p>(2) ライブライバーの運営</p> <p>ア 資料室・読書室の運営</p> <p>イ ビデオライブラリーの運営</p> <p>ウ 地球市民教育リソースセンターの運営</p> <p>エ 外国語で楽しむ絵本の会の実施</p> <p>(3) FM 放送による外国人向け情報提供</p> <p>(4) 施設見学会の実施</p>

(注 1) 日本語のほか英語、ポルトガル語、スペイン語、中国語、ハングル、フィリピノ語、フランス語の 7 言語で生活・観光情報などを提供している。

2 相談事業
(1) 海外児童生徒教育相談
(2) 外国人市政相談
(3) 外国人法律相談
(4) 外国人税務相談
(5) 外国人こころの相談
(6) 外国人無料健康相談会の実施
3 広報出版事業
(1) 「ニック・ニュース」の発行
(2) 「ナゴヤ・カレンダー」の発行
(3) 事業紹介ビデオの作成
(4) ホームページによる情報発信
(5) メールマガジンの発行
4 研修事業
(1) 国際カレッジ
(2) 国際理解教育セミナー
(3) 日本語ボランティアシンポジウム
(4) 地域の国際化セミナー
(5) 多文化共生ボランティア研修
(6) 留学ガイダンス
5 國際交流・國際協力事業
(1) NIC 地球市民教室(注 2)
(2) なごや民間大使母国紹介事業
(3) 世界語（かた）ろマイスター制度
(3) 世界へえ？ほう！フェスティバル
(4) 外国人芸術作品展
(5) 留学生の夕べ
(6) お泊り de トーク
(8) 地球市民フェスタ
6 ボランティア制度の運営等
(1) ホームステイボランティア制度の運営
(2) ボランティア制度の管理運営
7 民間国際交流活動振興事業
(1) 國際交流協力協働事業

(注 2) 外国人講師を地域の学校や団体に派遣し、出身国の紹介を日本語で行う。

(注 3) 日本語を理解できない外国人のために基礎的な日本語会話を国際センター登録ボランティアが教える。

	<p>8 外国人市民の暮らしやすいまちづくり事業</p> <p>(1) 定住外国人関連事業</p> <p>ア 港区ブラジル人生活オリエンテーション</p> <p>イ 九番団地子どもサッカー教室</p> <p>ウ 多文化共生嘱託職員の配置</p> <p>(2) 「NIC 日本語の会」の運営（注3）</p> <p>(3) 子ども日本語教室の開催</p> <p>(4) 外国籍児童・生徒サポート一養成研修</p>
II	自主事業
	<p>1 ワールド・コラボ・フェスタ</p> <p>2 外国人コミュニティ協働事業</p> <p>3 年報の発行</p> <p>4 国際的施設誘致事業</p> <p>5 “世界寺子屋運動”名古屋実行委員会事務局の運営</p> <p>6 賛助会員制度の運営</p>
III	受託事業
	<p>1 ロサンゼルス交歓高校生受入事業</p> <p>2 行政窓口外国語(英語)研修</p> <p>3 名古屋生活ガイドの作成</p> <p>4 JICA青年招聘事業</p>

⑥ 利用実績

年 度	入 館 者 数	貸 出 施 設 利 用 件 数	情報カウンター 問い合わせ件数
12	168,187	7,131	40,671
13	155,409	6,592	41,264
14	147,982	6,922	29,998
15	143,485	7,127	27,967
16	120,444	7,214	21,681
17	108,663	7,342	23,757
18	102,910	9,019	22,712

⑦ その他

ア 賛助会員制度

地域に活動の輪をひろげ、民間の力を活用し、より広範囲で有益な事業を運営するためにセンター設立当初より設けられた制度である。センターの趣旨に賛同し、事業および運営資金面への支援をいただける個人・団体を募っている。

会員数(平成19年3月31日現在)

個人会員 289人

学生会員 19人

団体会員 176団体

イ なごや民間大使

日本で一定期間滞在経験をもつ外国人を対象に、センターの特別嘱託職員として1年間委嘱し、母国の紹介をはじめとする事業を企画し実施するほか、小中学校や民間国際交流団体等に出かけ、講演を行う。任期終了後は、名古屋地域と母国とのかけ橋として活躍してもらう。

民間大使最近の実績

	委嘱年月日	氏 名	国籍	性別
第34代	16. 4. 1	アージム・シンサラン	モンゴル	女
第35代	16. 10. 1	ウニヤル・アルチャナ	インド	女
第36代	17. 4. 1	ウォン・フォン・チャン	ベトナム	女
第37代	17. 10. 1	ベレジヌイ・ビタリー	ウクライナ	男

ウ 世界語ロマイスター

NIC 地球市民教室登録講師の中から選定し、歴史、文化、政治、経済、社会などに焦点を当てた母国紹介に加え、国際理解、多文化共生をテーマとした公開講座「世界へえ？ほう！講座」を実施する。

	委嘱年月日	氏名	国籍	性別
初代	18. 4. 1	カナル・キソル・チャンドラ	ネパール	男
平成19年度	19. 4. 1	池田チンツィア	イタリア	女
平成19年度	19. 4. 1	ガジャナヤカ・カーンティ	スリランカ	女

エ ボランティア登録

(平成19年3月31日現在)

(ア) 種類別内訳

種類	人 数
1. 多文化共生ボランティア	ア 日本語の会 58人
	イ 情報カウンター 16人
	ウ ライブラリー 13人
	エ ひらがなしんぶん 10人
	オ 語学 383人
	英語 221人
	英語以外 162人
	カ 災害語学 285人
	キ 留学生サポート 37人
	ク 海外児童生徒教育相談 1団体
	ケ 放送スタッフ 40人

IV 國際化推進施設

2. 異文化理解ボランティア	ア ホームビジット	82人	415人
	イ ホームステイ	243人	
	ウ 事業サポート	90人	
3. 国際協力ボランティア	世界寺子屋運動	11人	11人
合計			1,268人 及び1団体

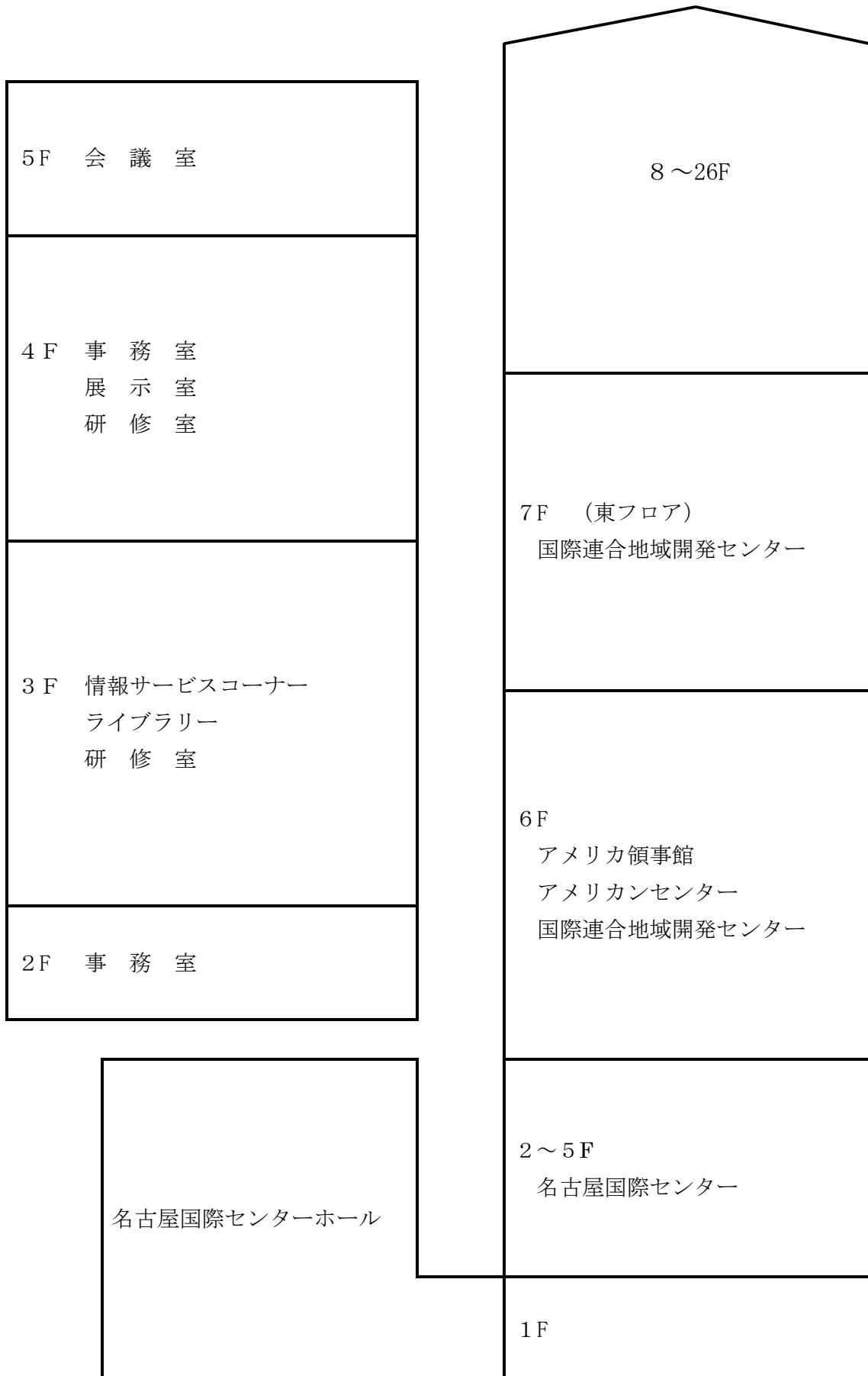
(イ)語学ボランティア言語別内訳

言 語	人 数
英語	221
中国語	56
フランス語	17
スペイン語	21
ポルトガル語	15
ドイツ語	11
タイ語	7
ハングル	9
インドネシア語	3
ロシア語	3
マレー語	1
アラビア語	1
イタリア語	6
ネパール語	2
ペルシア語	3
モンゴル語	1
ベンガル語	1
ヒンディー語	1
ウルドゥ語	1
ベトナム語	2
セルビア・クロアチア語	1
合 計	383

(ウ)災害語学ボランティア言語別内訳

言 語	人 数	言 語	人 数
英語	180	ハングル	4
中国語	32	ロシア語	2
フランス語	14	アラビア語	1
スペイン語	17	イタリア語	3
ポルトガル語	11	ネパール語	2
ドイツ語	6	スワヒリ語	1
タイ語	5	ペルシャ語	1
インドネシア語	2	ベンガル	1
ヒンディー語	1	ベトナム語	2
合計 18 言語			285

名古屋國際センタービル



2 国際留学生会館

(1) 施設の目的

愛知県内の大学などに在学する外国人留学生に宿泊施設の提供、研修、相談、情報提供等の事業を行うほか、市民との交流事業等を実施し、留学生に対する理解を深めて当地の受入れ体制を築く。

(2) 施設の特色

- ① 地方公共団体(名古屋市・愛知県の共同設置)が建設した初めての留学生施設である。
- ② 財団法人名古屋国際センターが管理・運営する。
- ③ 宿泊施設の提供のほか、留学生に対する研修・相談・情報提供を行い、留学生センター的な機能を持つ。

(3) 施設の概要

① 所在地

名古屋市港区港栄二丁目 2 番 29 号

(名古屋市港保健所との複合施設)

② 敷地面積 1,580 m²

③ 建築面積 1,196 m²

④ 延床面積 3,824 m²

(施設全体 6,804 m²)

⑤ 規 模 10階建

(留学生会館 4~10階、
港保健所 1~3階)

⑥ 構 造 鉄骨鉄筋コンクリート造

⑦ 宿泊定員 100名

单身室 80名 月額 20,000円

夫婦室 20名 月額 25,000円

⑧ 開 館 平成 2 年 4 月 1 日

(4) 主な施設内容

区 分		面 積	室数	用 途 等
居 室	单 身 室 夫 婦 室	18 m ² 36 m ²	80 室 10 室	单身用、炊事設備、ユニットバス完備 夫婦用、炊事設備、ユニットバス完備
共 用 施 設	ソーシャルルーム 研 修 室 インフォメーションカウンター (兼 事 務 室) パ ソ コ ン 室 和 室 資 料 室 ロビ ー、ラウンジ 体 育 室	163 m ² 52~56 m ² 68 m ² 12 m ² 50 m ² 25 m ² 122 m ² 202 m ²	1 室 3 室 1 室 1 室 1 室 1 室 — 1 室	レクリエーション・交流親睦事業等 研修、会議、ガイダンス、セミナー等 留学生への情報提供等 インターネットの利用 茶道、華道、書道等の日本伝統文化の紹介等 留学生用参考図書等 歓談、応接等 軽スポーツ等 (保健所と共有)

(5) 平成 19 年度の主な事業

宿泊事業	研修事業	交流事業	相談事業	情報提供事業	その他の事業
1 入居者の募集及び選考 2 オリエンテーションの実施 3 歓迎会等の実施	1 日本語講座 2 日本文化理解講座	1 留学生講師による外国語講座及び外国事情紹介講座の開催 2 登録ボランティア制度の活用 3 学校及び地域住民との交流	1 面接や電話等で学業や生活上の相談	1 奨学金、宿舎等各種の情報提供	1 住宅敷金の貸付 2 なごや市民留学生支援金の支給

* 平成 19 年度は会館の外壁改修工事のため 1 年間休館しており、一部事業を行っていない。

3 名古屋市公館

(1) 施設の目的

市民に名古屋の姉妹友好都市交流のあゆみと現状を紹介し、国際的な雰囲気に親しむ場を提供するとともに、国際会議や式典など内外賓客との交歓の場として機能するものである。

(2) 施設の概要

- ① 所在地 名古屋市中区三の丸三丁目
2番5号
- ② 敷地面積 3,667.68 m²
- ③ 建築面積 1,281.41 m²
- ④ 延床面積 6,557.26 m²
- ⑤ 規 模 地下1階・地上5階
- ⑥ 構 造 鉄骨鉄筋コンクリート造
- ⑦ 開 館 平成元年7月5日

(3) 主な施設内容

区分	階	面積等	席数等	用途等
国際交流展示室	地下1階	383.15 m ²		姉妹友好都市等との交流記念品の展示、姉妹友好都市の紹介等を行う場。
レセプションホール	1階	303.26 m ²	立食形式で約200人 正餐形式で約100席 講演会形式で約200席	姉妹友好都市からの親善使節歓迎宴や市の各種式典、表彰式、会議の場。
貴賓室	2階	136.34 m ²	14席	内外賓客の市長表敬等応接懇談の場。
応接室	3階	96.85 m ²	16席	内外賓客の市長表敬等の場。
特別会議室	3階	141.80 m ²	28席	内外賓客との会議、懇談等の場。
和室	3階	20畳	12席	茶室を含み、日本的な雰囲気の中で、内外賓客の応接、懇談を行う場。
大会議室	4階	281.40 m ²	32席	自治体の首長会議、各種審議会等市の重要会議の場。
小会議室	4階	146.26 m ²	54席	内外賓客との会議、懇談等の場。
駐車場	地下1階 玄関前	25台		